

一般財団法人 西日本産業衛生会 健康経営戦略マップ(2025年10月改訂)

健康投資

様々な効果に関連する健康投資 ★健康支援のための継続的な制度設計及び運用★

ストレスチェック職場別分析結果の活用

職場環境改善

メンタルヘルス・ハラスメント教育・研修

定期健診徹底および 健診後の受診勧奨と保健指導 ※

がん検診・各種オプションの費用補助

禁煙推進 ※

健康教育•研修

健康支援アプリ(CARADAアプリ)の活用

福利厚生・イベント

両立支援(治療·介護·育児)施策

健康投資効果

健康投資施策の 取組状況に関する指標

ストレスチェック受検率

職場環境改善実施率

ハラスメント教育・研修参加率

メンタルヘルス教育・研修参加率

健康診断受診率

がん検診受診率

精密検査受診率

保健指導実施率

特定保健指導実施率

健康教育参加率

CARADAアプリ導入率

両立支援制度の周知状況

職員の意識・行動変容に

ストレスチェック結果

関する指標

・高ストレス者率

・ハラスメント

- ・集団分析 職場の健康リスク
- ・職場の一体感 ・ワークエンゲージメント

プレゼンティーズム

健康的生活習慣

のある職員の割合

- •朝食欠食者率
- · 喫煙率 ※
- ・睡眠により十分な休養が取れ ている率
- •運動習慣比率

両立支援制度利用状況

健康関連の

最終的な目標指標

プレゼンティーズム改善

ワークエンゲージメントの向上

ハラスメント抑制

勤続年数延長

KGI 重要業績評価指標

(2025年度 82.3%)

平均勤続年数12年 (2024年 10.6年) 以下維持 (2024年 6.3%)

健康経営で解決したい経営課題

健康経営の

推進方針

当会は、社会の健康を守り、創造する労働衛生機関とし て、職員一人ひとりの心身の健康・働きがい・人間関係の 質を高めることが、組織全体の活力と持続可能性を向上 させると考え、次の3つを目標に定め、「健康経営」の取り 組みを進めます。

1. 心身の健康

健康診断、ストレスチェック、職場環境の整備を通じて、安 心して働ける職場づくりを進めます。

2. 働きがいの向上

ハラスメントを防止し、経営及び上司部下の信頼関係の 強化、個々の貢献実感の醸成により、やりがいある職場を 育てます。

3. 両立支援

個人の価値観・ライフスタイルを尊重し、治療・育児・介 護などそれぞれの事情と仕事との両立を支援します。

健康経営の目標 目標年:2028年度

プレゼンティーズム 3 %改善

ワークエンゲージメント 偏差値3改善 (2024年 46.9)

ハラスメント本人認識率10%

経営方針

- 1. 労働衛生機関として、 ハード面、ソフト面を含めて 常に最善を目指します。
- 2. 健診事業などを通じ、 企業・各種団体及び地域 住民の健康保持・増進に 寄与することにより、社会 への貢献を果たします。
- 3. 一般財団法人として 企業倫理の遵守を旗印に 推進していきます。

健康課題

- ・ワークエンゲージメントが低く、プレゼン ティーズムが高い職場が存在する
- ・健康問題や対人関係を理由に退職す る人が一定数存在する

職場風土の醸成

健康経営の浸透

- · 健康経営宣言策定
- ・ 代表理事からの「健康経営だより」を年に4回以上発行

評価指標:職員アンケートで浸透度確認

サポート・組織支援

・ 上司・組織によるサポートの推進

a.事業主とのコラボヘルス(禁煙対策) b.特定健診受診勧奨

快適な職場環境づくりの推進

評価指標:ストレスチェックやアンケートで上司や組織のサポート状況の把握

c.特定保健指導推進 d.生活習慣病重症化予防 (一定の有所見者への受診勧奨)

※は全国健康保険協会福岡支部による第3期 データヘルス計画の4つの事業と連携するものです。

健康経営推進方針の実現のための体制・環境整備

- ・ 代表理事が、健康経営方針を明確にし、取り組みを発信・推進
- ・ 従業員代表が、参加する会議を年2回開催
- ・ 理事 (医師) を責任者とするウエルビーイング推進プロジェクトを実施
- 理事会にて健康支援の議題を報告・協議
- ・ 外部専門家(公認心理士、経営コンサルタント等)による組織改善提案

